

## 地理(日本の資源とエネルギー)

日本は山がちで水資源にめぐまれているため、1950年代ごろまでには、山地にダムを建設して、その水を利用した①水力発電に電力の多くを依存してきた。しかし、現在の日本は当時と比べ電力の需要がおおはばに増えたため、石油や石炭、天然ガスを燃料とする②火力発電や、ウランを燃料とする③原子力発電が中心になっている(2011年に発生した東日本大震災より、状況は大きく変わった)。だが、②火力発電は、④CO2排出の調整がしやすいというメリットがある反面、温暖化の原因となる⑤地球温暖化が発生するというデメリットもある。また、石油や石炭は有限資源なので、それらにたよる割合を低下させる必要がある。そして、環境の汚染を少なくするためにも⑥再生可能エネルギーや⑦太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な利用や、工場や各家庭における⑧省エネルギーへの意識向上が必要となっている。